

令和4年度 県土整備部環境配慮事例報告書

| | |
|-------|-----------|
| 事業主管課 | 砂防・気候防災課 |
| 実施機関 | 県土整備部(那賀) |

【事業の概要】

| | | |
|----------|-------------|-------------|
| 事業の種類 | 砂防 | 砂防ダム |
| 事業箇所名 | 那賀郡那賀町木頭字広瀬 | |
| 事業の規模・状況 | 0.08 km2 | 小規模事業a 設計段階 |

【事業の目的及び概要】

那賀川水系ミサゴ谷は、那賀郡那賀町木頭字広瀬に位置する土石流危険渓流Ⅰである。保全対象には、人家4戸、木沢診療所(要配慮者利用施設)、木沢物産センター(卸売・小売業施設)、一般国道193号等がある。近年上流部の荒廃が著しく、出水時には渓床堆積物の流下及び突発的な山腹崩壊による土石流等により下流の人家等に甚大な被害を及ぼす恐れがあるため、早急な対策が必要な箇所である。

【検討した環境要素の一覧及びRDBの有無、モニタリングの要否】

| 大気 | 騒音・振動 | 水環境 | 地形・地質等 | 生物多様性 | 景観 | 自然とのふれあい | 文化財 | 廃棄物 | 温室効果ガス等 | RDB種の有無 | モニタリングの要否 |
|----|-------|-----|--------|-------|----|----------|-----|-----|---------|---------|-----------|
| | | | ○ | ○ | | | | ○ | | | ○ |

【特に配慮した環境要素と検討事項】

砂防堰堤設計施工計画時において、環境配慮アドバイザーの意見をもとに、施工場所(谷)における生物や植物の希少種調査を実施。調査結果により希少種が発見された場合は、できる限りの配慮を行う予定。特に生物に対して、砂防堰堤によって上下流が分断されないような設計と施工方法を検討。

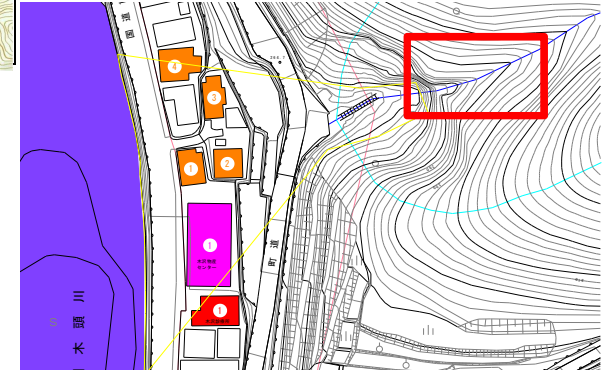
【目標に対する達成状況】

現地調査を実施したところ希少種は発見されなかった。砂防堰堤によって上下流が分断されないような設計と施工方法を検討中。

【検討事項に対する評価】

実施者：現地調査を実施したところ希少種は発見されなかったが、環境配慮アドバイザーの意見を参考にして、環境に配慮していきたい。希少種がない場合においても、砂防堰堤によって上下流が分断されない構造を検討していくが、施工方法についてもできる限り環境に配慮できるような仮設計画・施工計画を考えていきたい。

位置図・平面図等



調査区間

写真、図面等

魚類調査及び底生動物調査



植物調査

